

令和2年度 アオコ情報 No. 4

6月23日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、西浦の山王川沖、北浦の安塚沖、武田川沖、釜谷沖でアオコレベル1相当^{※2}でした。そのほかの地点は、アオコレベル0相当でした。
- 植物プランクトンの増殖に必要な栄養塩のうち、窒素は掛馬沖と湖心を除く地点で、りんは掛馬沖を除く地点で、植物プランクトンの増殖に適した状況でした。
- 気象庁によると、来週は曇りと雨の日が混在するものの、最高気温は25℃以上の日が続くことから、植物プランクトンの増殖が可能な環境です。しかし、湖内のフィコシアニン濃度があまり高くないことから、今後1週間以内での急激な大発生は起こらない見込みです。

1 湖内のアオコレベル

- 山王川沖、安塚沖、武田川沖、釜谷沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：80～120 μg/L）でした。
- そのほかの調査地点では、アオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：25～48 μg/L）でした。

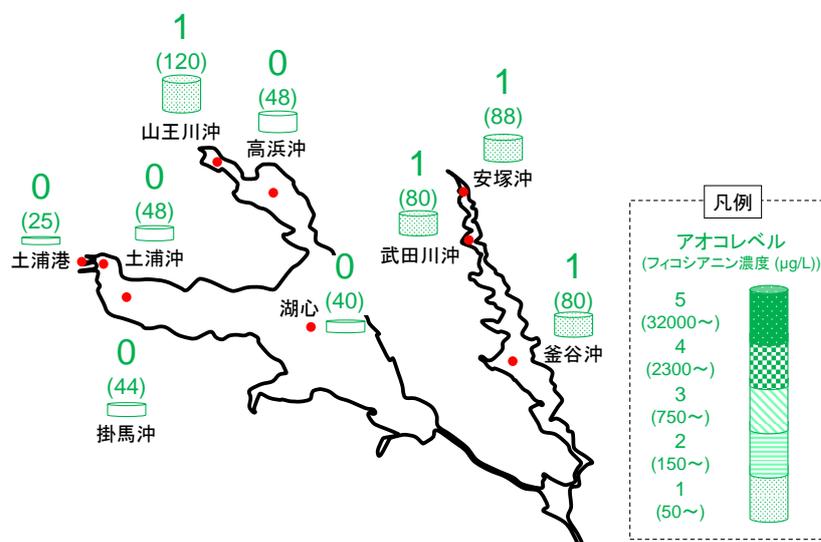


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 μg/L程度、アオコレベル2で150 μg/L程度、アオコレベル3で750 μg/L程度、アオコレベル4で2300 μg/L程度、アオコレベル5で32000 μg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

2 アオコ発生に影響する項目の湖内状況

- 調査時の水温は 21.0℃～24.5℃でした。
- 栄養塩濃度の無機窒素濃度が 0.1 mg/L 以上であった地点は、掛馬沖と湖心を除くすべての地点でした。りん酸態りん濃度が 0.01 mg/L 以上であった地点は、掛馬沖を除くすべての地点でした。
- 気象庁（6月25日11時発表）によると、来週は曇りと雨の日が混在しますが、最高気温は 25℃ 以上の日が続くことから、植物プランクトンの増殖が可能な環境です。

表1 アオコ発生に寄与する水質条件等の状況

		西 浦					北 浦		
		土浦港	土浦沖	掛馬沖	湖心	山王川沖	高浜沖	安塚沖	武田川沖
水 温		B	B	B	B	B	B	B	B
栄 養 塩	無機窒素濃度	A	A	B	B	A	A	A	A
	りん酸態りん濃度	A	A	B	A	A	A	A	A
予 報	日照時間	C							
	気 温	A							

A: 発生に適した条件, B: 発生が可能な条件, C: 発生に適していない条件
 (各項目の判定基準及び結果詳細は、別紙を参照)

3 過去の同時期におけるフィコシアニン濃度との比較

- 過去にアオコの発生が著しかった土浦港及び武田川沖について、本年度と過去2年間のフィコシアニン濃度を比較すると、土浦港では H30 年度と同程度、武田川沖では R1 年度と同程度でした。

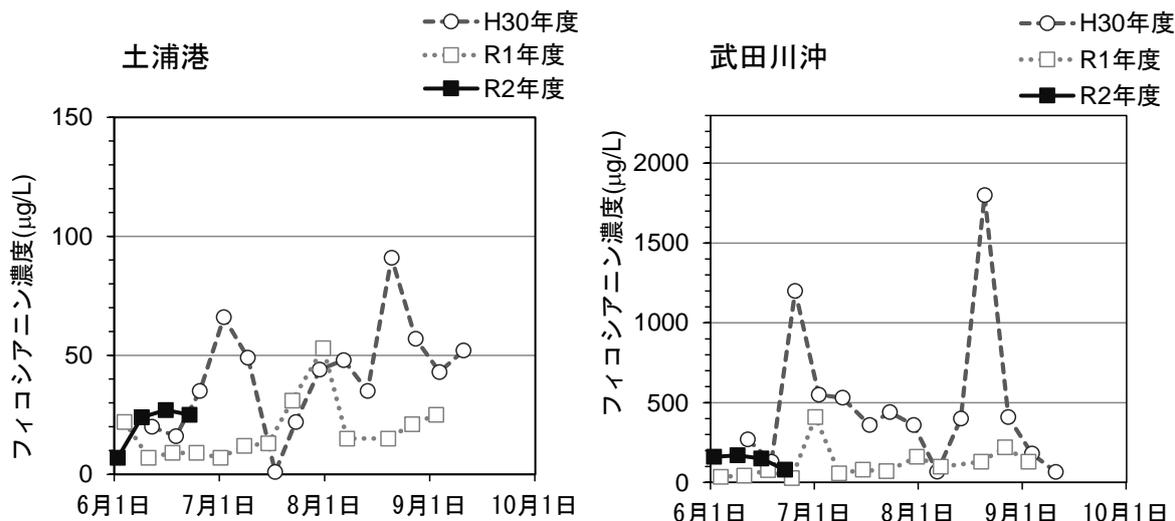


図2 過去2年間および本年度のフィコシアニン濃度の推移
 (左：土浦港，右：武田川沖)

(別 紙)

● 各項目の判定基準

【水温】

アオコの原因となる植物プランクトン（ミクロキスティス）の増殖倍率がおおよそ 20℃以上から高まり、25℃以上で約 10 倍に達する（佐々木，1975）ことから、「25℃以上」をA、「20℃以上」をB、「20℃未満」をCとした。

【栄養塩濃度（溶存無機窒素）】

植物プランクトンの栄養源となる溶存無機窒素（DIN）について、藍藻類の増殖に関する目安が 0.1 mg/L といわれている（Oliver ら，2000）ことから、溶存無機窒素濃度が「0.1 mg/L 以上」をA、「0.1 mg/L 未満」をBとした。なお、本項目の基準については、Cに該当する知見が不十分なため、A、B の二区分とした。

【栄養塩濃度（りん酸態りん）】

植物プランクトンの栄養源となるりん酸態りん（ $PO_4\text{-P}$ ）について、藍藻類の増殖に関する目安が 0.01mg/L といわれている（Oliver ら，2000）ことから、りん酸態りん濃度が「0.01mg/L 以上」をA、「0.01mg/L 未満」をBとした。なお、本項目の基準については、Cに該当する知見が不十分なため、A、B の二区分とした。

【日照時間】

気象庁の天気予報（茨城県）において、1週間「晴れが続く」場合をA、「晴れと曇りが混在している」場合をB、「曇りや雨が続く」場合をCとした。

【最高気温】

過去の最高気温と水温の関係は、水温が 25℃、20℃になったときの一週間の最高気温の平均がそれぞれ 25℃、18℃だったので、一週間の最高気温の平均値が「25℃以上」をA、「18℃以上」をB、「18℃未満」をCとした。

【アオコレベル】

レベル 1



レベル 2



レベル 3



レベル 4



レベル 5



レベル 6



● 調査結果の詳細

図3 アオコレベル

表2 調査結果

	西 浦						北 浦		
	土浦港	土浦沖	掛馬沖	湖 心	山王川沖	高浜沖	安塚沖	武田川沖	釜谷沖
採水時刻	6月23日 13:20	6月23日 12:35	6月23日 12:00	6月23日 10:15	6月23日 11:10	6月23日 10:45	6月23日 8:15	6月23日 8:30	6月23日 9:05
水温(°C)	24.5	23.9	24.2	23.5	23.1	23.2	21.0	22.5	23.0
フィコシアニン(μg/L)	25	48	44	40	120	48	88	80	80
クロロフィルa(μg/L)	58	66	55	49	79	66	53	51	65
TN(mg/L)	1.54	1.26	0.63	0.60	1.16	1.05	2.88	1.98	0.91
TP(mg/L)	0.12	0.13	0.10	0.11	0.15	0.19	0.11	0.15	0.14
DIN(mg/L)	0.88	0.64	0.01	0.03	0.38	0.34	2.27	1.31	0.24
NO ₃ -N(mg/L)	0.61	0.52	<0.02	<0.02	0.31	0.14	2.19	1.12	0.02
NO ₂ -N(mg/L)	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.06	0.04	0.04	<0.02
NH ₄ -N(mg/L)	0.24	0.10	<0.02	0.02	0.05	0.13	0.04	0.14	0.20
PO ₄ -P(mg/L)	0.01	0.02	<0.01	0.02	0.02	0.05	0.02	0.06	0.06